ONKYO

コンパクトディスクプレーヤー

C-724AX

取扱説明書

箱を開けたら、まず

操作をする前に

演奏する

予約演奏する

くり返し演奏する

カセットテープへの録音に便利な機能

その他

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

主な特長

■ **オンキヨー・サウンドイズムの思想を踏襲した高音質設計**

「きれいなだけの音ではなく、魂に響く音楽の再生」をテーマに、音楽本来のしなやかさと力強さとを併せ持った高い再現力を実現しました。

■ **シングルビット方式・アキュパルスD/Aコンバーター**

D/Aコンバーター部は、ゼロクロス歪みと非直線性の改善に効果のあるシングルビット方式・アキュパルスD/Aコンバーターを採用し、きめ細かな音を再現しました。

■ **光デジタル出力端子、2系統装備**

DATデッキやMDレコーダーなど2つのデジタル録音機器への接続に対応しました。

■ **ピークサーチ（リモコン機能）**

コンパクトディスクの最大ピークの箇所を検出します。これを用いることで簡単・確実な録音レベルの調整が可能となります。

■ **ネクストセレクション（リモコン機能）**

演奏中に次に演奏したい曲を指定できます。

■ **メモリーとメモリーリバース**

演奏したい曲だけを選曲できるメモリー機能と、演奏しなかった曲を簡単にメモリーできるメモリーリバースを採用しました。

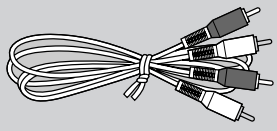
■ **36曲のランダムメモリー（リモコン機能）**

■ **5種類のリピートモード（リモコン機能）**

■ **10キーによるダイレクト選曲（リモコン機能）**

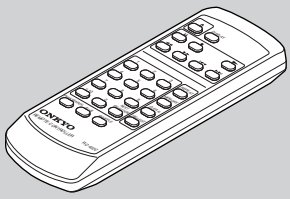
付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は、数量を表しています。

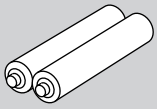


● オーディオ用ピンコード(1)

● RIケーブル(1)



● リモコン(RC-402C)(1)



●乾電池（単3形）(2)

●取扱説明書(本書1)

●保証書(1)

目次

箱を開けたら、まず 2

主な特長／付属品 2
目次 3
オーディオ機器の正しい使いかた 4

操作をする前に 9

ディスクの取り扱いについて 9
各部の名称 10
接続 12
リモコンについて 13

演奏する 14

1曲目から演奏する（ノーマル演奏） 14
聞きたい曲を選ぶ（スキップ） 15
演奏を早送り、早戻しする(サーチ) 15
タイマー演奏 15
ヘッドホンで聞くには 15
聞きたい曲から演奏する（ダイレクト演奏） 16
順序不同に演奏する（シャッフル演奏） 16
次の演奏曲を選ぶ 17
時間表示を変える 17

予約演奏する（メモリー演奏） 18

予約演奏する（メモリー演奏） 18
予約内容を逆転する（メモリーリバース） 19

くり返し演奏する（リピート演奏） 20

全曲をくり返す 20
1曲をくり返す 20
聞きたい部分をくり返す（A−Bリピート） 21

カセットテープへの録音に便利な機能 22

最大レベル位置を探す（ピークサーチ） 22
テープの長さに合わせて編集する（タイムエディット） 23

その他 24

故障？ と思ったときは 24
主な仕様 25
修理について 26
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内 27

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

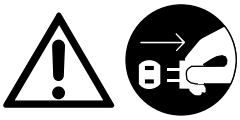
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
● 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
● テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
● 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかる所に置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠警告

■ 中に物を入れない

● 本機のディスク挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

指をはさまれないように注意

- お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用などについても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

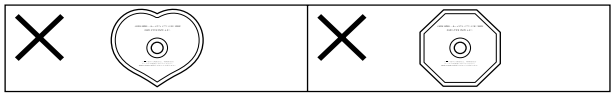
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

ディスクの取り扱いについて

■演奏上のご注意

ご使用になるCD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面（印刷面）に右記のマークの入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

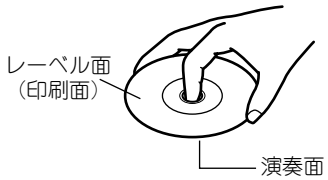


パソコン用のCD－ROMなど音楽用ではないディスクは使用しないでください。異音の発生などで、スピーカーやアンプの故障の原因となります。

CDケースまたはディスクに右記のマークが付いているディスクで録音されたものは再生できない場合があります。

■取り扱いについて

演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

■レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■お手入れについて

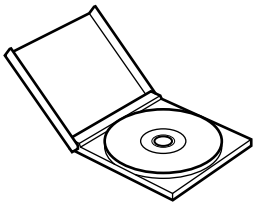
汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。

アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

■保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。



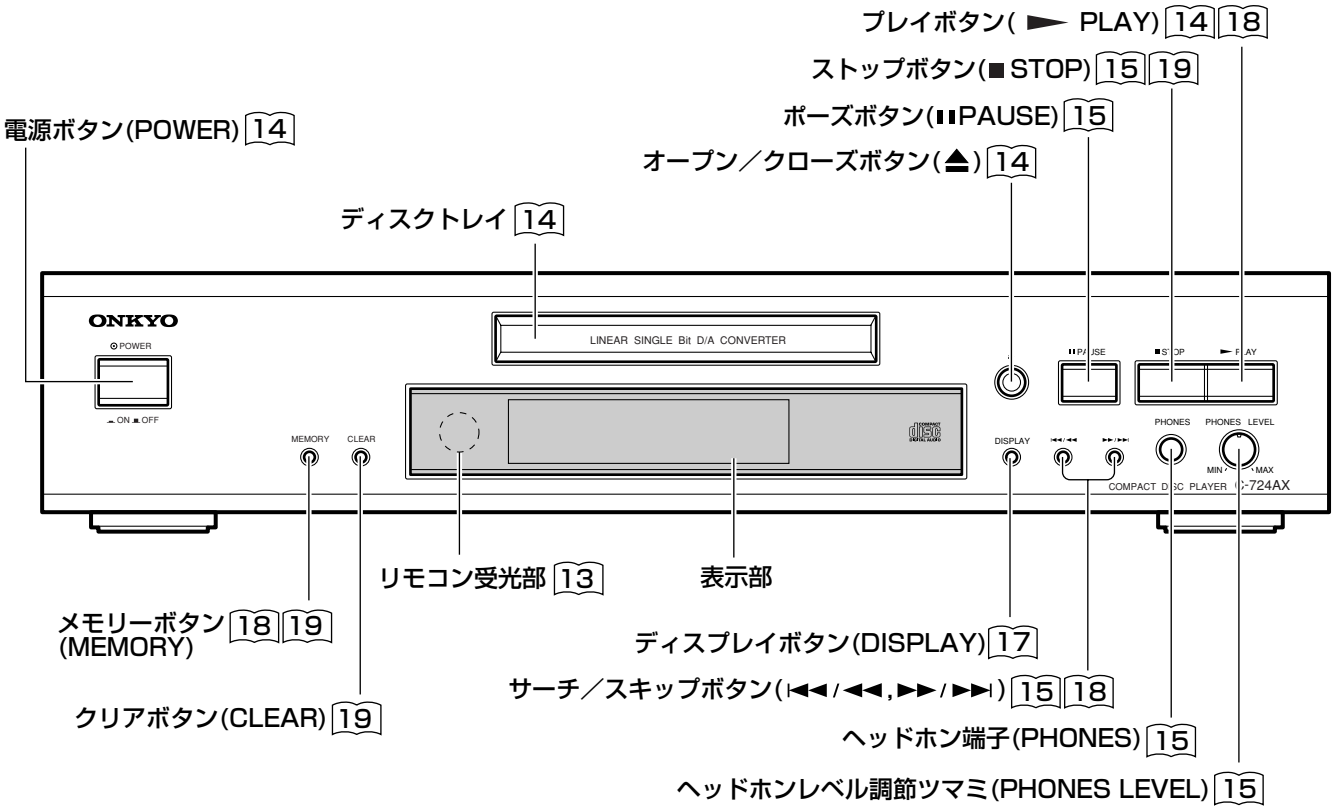
結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりでなく、CDや部品も痛めてしまいます。結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、CDを取り出しておくことをおすすめします。

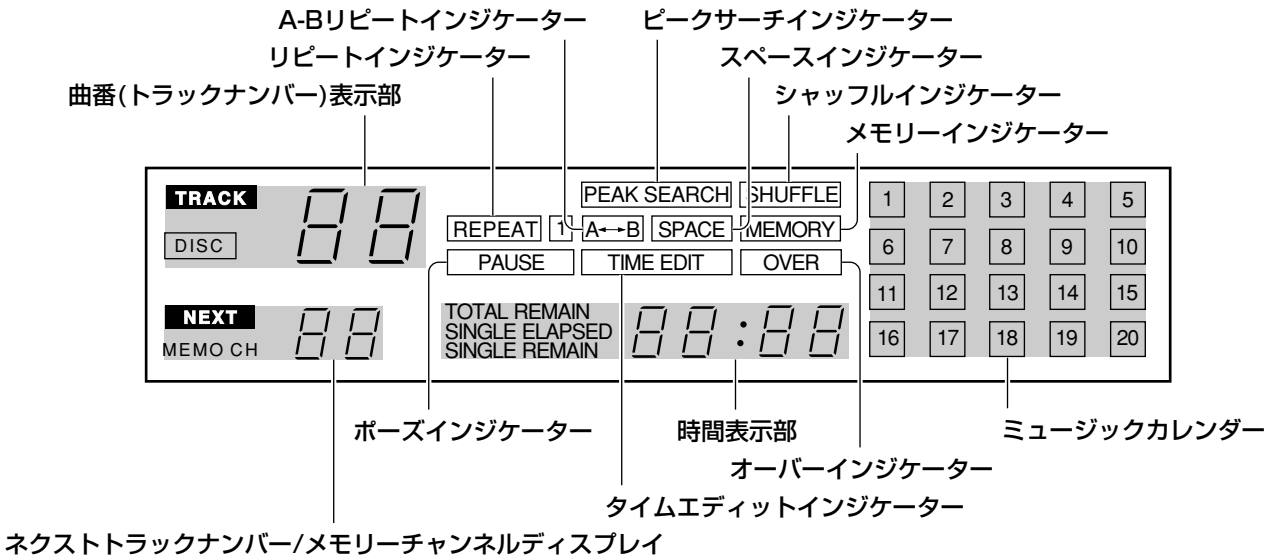
各部の名称

■前面パネル

内の数字は詳しい説明のあるページです。

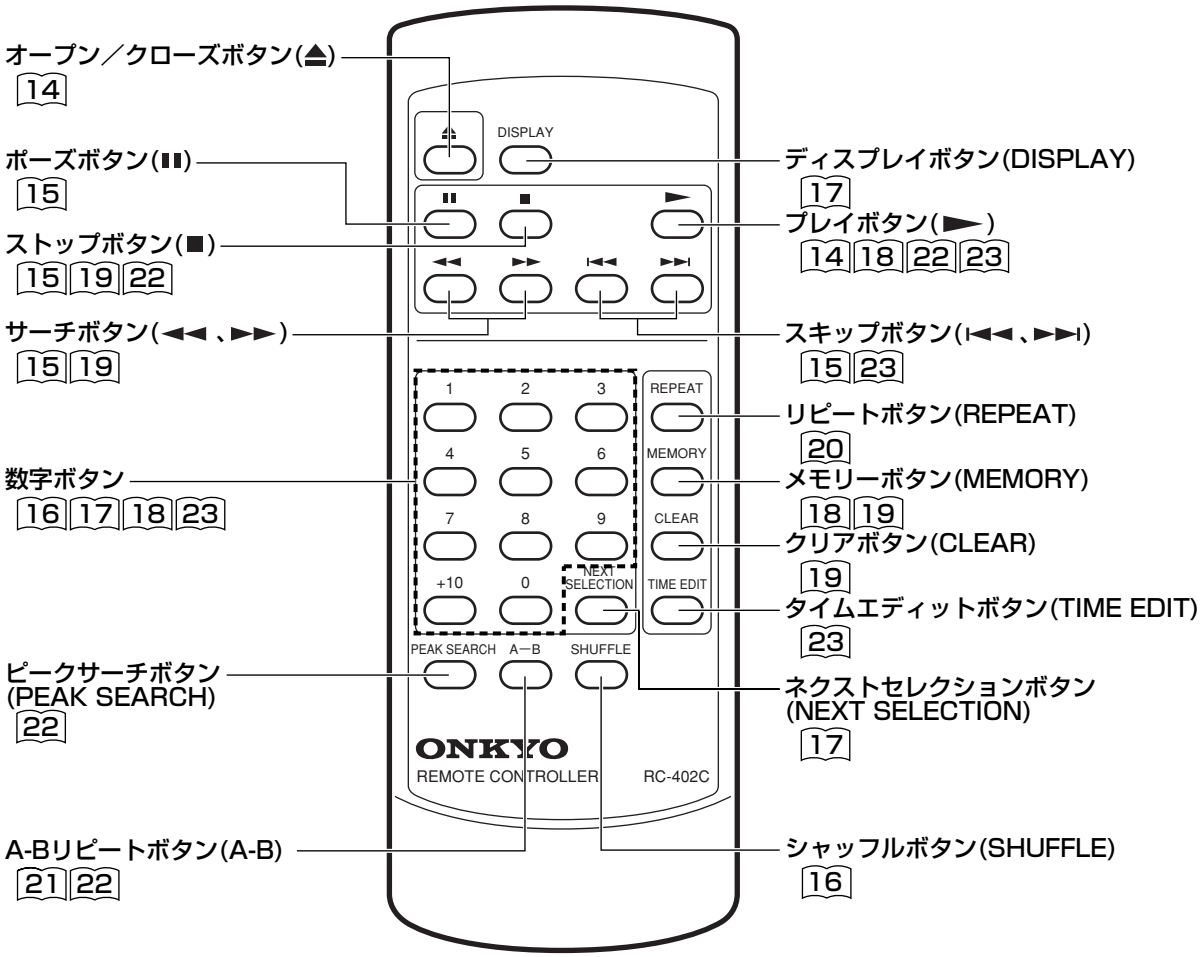


■表示部



各部の名称

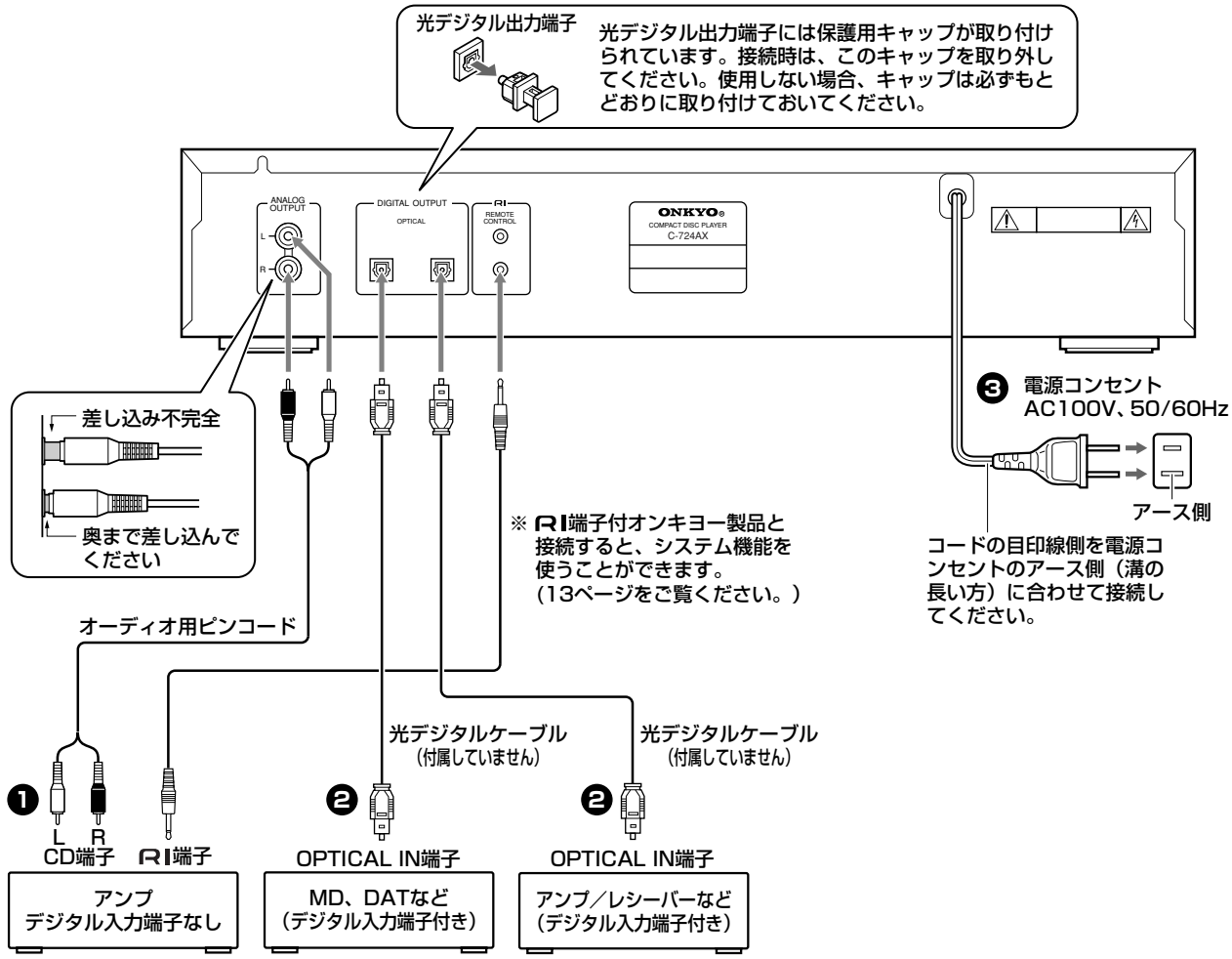
■リモコン


オープン／クローズボタン(⏏)
14
ポーズボタン(❚❚)
15
ストップボタン(■)
15 19 22
サーチボタン(◄◄ 、►►)
15 19
数字ボタン
16 17 18 23
ピークサーチボタン
(PEAK SEARCH)
22
A-Bリピートボタン(A-B)
21 22
ディスプレイボタン(DISPLAY)
17
プレイボタン(►)
14 18 22 23
スキップボタン(I◄◄ 、►►I)
15 23
リピートボタン(REPEAT)
20
メモリーボタン(MEMORY)
18 19
クリアボタン(CLEAR)
19
タイムエディットボタン(TIME EDIT)
23
ネクストセレクションボタン
(NEXT SELECTION)
17
シャッフルボタン(SHUFFLE)
16
DISPLAY
REPEAT
MEMORY
CLEAR
NEXT SELECTION
TIME EDIT
PEAK SEARCH
A—B
SHUFFLE
ONKYO
REMOTE CONTROLLER
RC-402C

接続

■他の機器と接続する場合

- すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに接続してください。
- 本機に付属のオーディオ用ピンコード(赤、白プラグ付き)を使用し、赤いプラグは(R)側に、白いプラグは(L)側に接続します。
- プラグはしっかり奥まで差し込んでください。不完全な接続は、雑音や動作不良の原因となります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると、音質低下の原因となります。



❶アンプとの接続

お手持ちのアンプのCD端子に本機を接続してください。

❷デジタル出力端子(DIGITAL OUTPUT)の接続

DAT(デジタルオーディオテープレコーダー)やMD(ミニディスクレコーダー)などのデジタル入力端子(OPTICAL)に市販の光デジタルケーブルを使って接続してください。デジタル録音をすることができます。また、この端子はデジタル入力端子付アンプとも接続できます。

ご注意

- 光デジタルケーブルは端子の形状にあったものをお使いください。

❸電源コードの接続

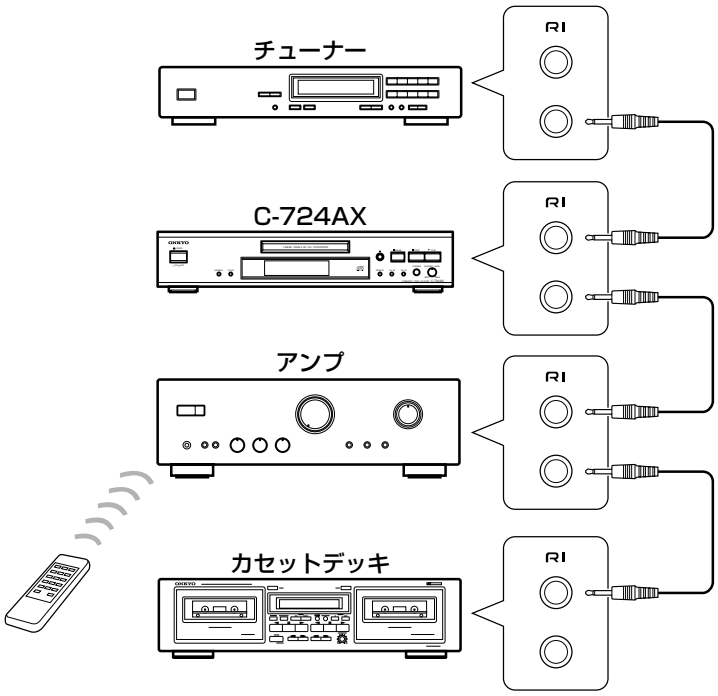
電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

ヒント

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。
電源コードの片側に入っている目印線側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。

■ RI端子の接続



RI端子は、RI端子付きオンキヨー製品と組み合わせた場合のみ使用できます。

RI端子付きのオンキヨー製品でシステムアップした場合、次のような操作ができます。詳しくは、各製品の取扱説明書をご覧ください。

- **システムリモコン操作**
- **シンクロ録音**
  図のように接続しておくと、本機のプレイボタンでカセットの録音を自動的に始めることができます。(接続方法などについては、カセットデッキの取扱説明書をご覧ください。)

ヒント

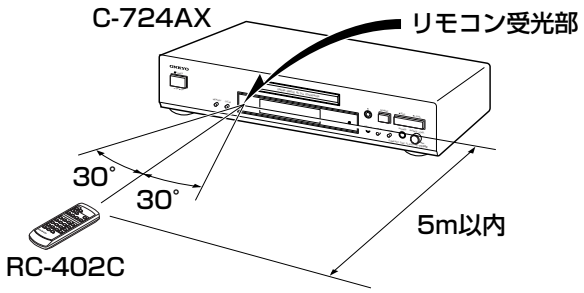
RI端子の上下2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。

ご注意

- RI端子付きオンキヨー製品以外とは接続しないでください。故障の原因となります。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。それぞれの機器のオーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

リモコンについて

■リモコンの使いかた

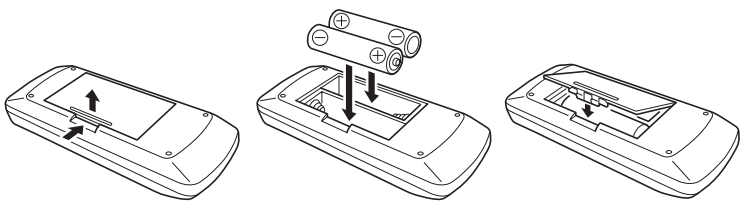


リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。また、途中に障害物があると操作できません。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

■乾電池の入れかたと交換のしかた



カバーを矢印の方向に持ち上げてはずす。

中の極性表示にしたがって、付属の電池2個を＋(プラス)と－(マイナス)を間違えないように入れる。

カバーを戻す。

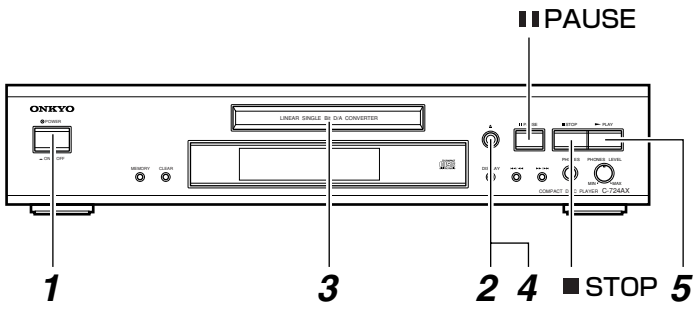
乾電池の寿命は約1年です。リモコン操作の距離が短くなったと感じたら、2本とも新しい乾電池(単3形)と交換してください。

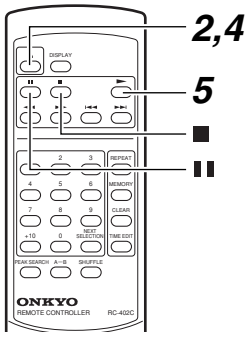
ご注意

- 電池の極性(＋、－)は、表示どおり正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

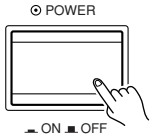
演奏する

■1曲目から演奏する（ノーマル演奏）





1 電源を入れる

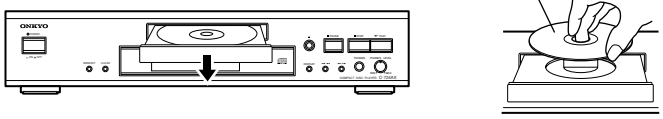


電源ボタン（POWER）を押します。
- 表示部が点灯します。

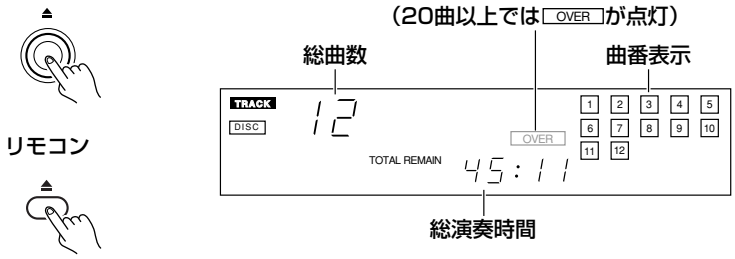
2 ディスクトレイを開く

オープン／クローズボタン（▲）を押します。

3 ディスクを置く



4 ディスクトレイを閉める

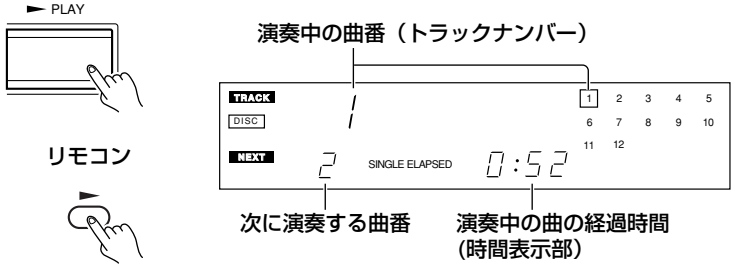


再度オープン／クローズボタンを押します。
- ディスクトレイの前面を押して閉じることもできます。
- 表示部にディスクの総曲数と総演奏時間が表示されます。

ヒント

プレイボタン(►PLAY)を押すと、ディスクトレイが自動的に閉まり、1曲目から演奏が始まります。

5 演奏を始める



プレイボタン(►PLAY)を押します。
- 1 曲目から演奏が始まります。

演奏する

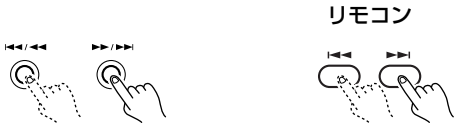
演奏を止めるには

ストップボタン（■STOP）を押します。

演奏を一時停止するには

ポーズボタン（II PAUSE）を押します。
- 再び演奏するには、再度ポーズボタンまたは、プレイボタン(►PLAY)を押します。

■聞きたい曲を選ぶ（スキップ）

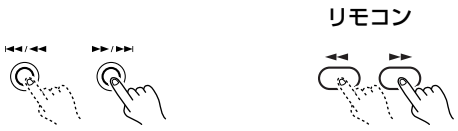


サーチ/スキップボタン(|◄◄/◄◄ , ►►/►►|)を押すたびに前後の曲の頭出しをします。演奏中に押すと、頭出しした曲から演奏が始まります。

|◄◄/◄◄ ： 演奏中に押すと、現在演奏中の曲の頭に戻ります。続けて2回押すと、前の曲の頭出しをします。

►►/►►| ： 押すたびに次の曲の頭出しをします。

■演奏を早送り、早戻しする（サーチ）



サーチ/スキップボタンを押し続けると、

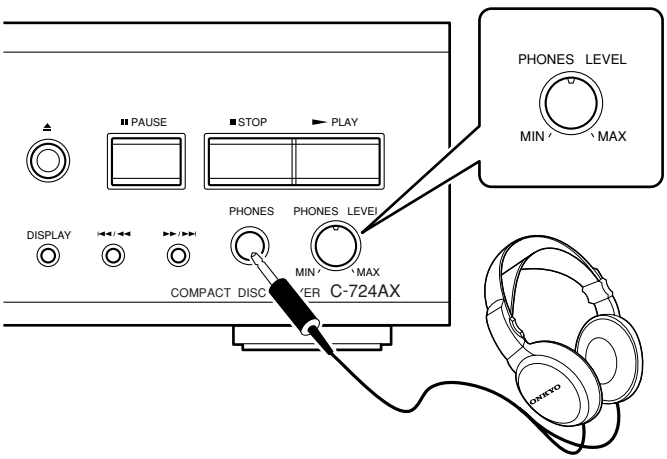
|◄◄/◄◄ ： 早戻しします。

►►/►►| ： 早送りします。
- 指を離したところから演奏を始めます。
- 音が小さく聞こえますので目安にしてください。

■タイマー演奏

本機は、ディスクが入った状態で電源を入れると自動的に演奏を開始します。ディスクおよび電源を入れたままオーディオタイマーに接続すると、タイマー演奏ができます。
タイマー設定については、オーディオタイマーの取扱説明書をご覧ください。

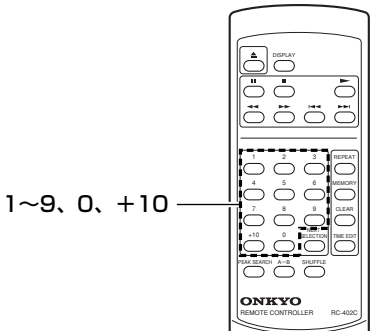
■ヘッドホンで聞くには



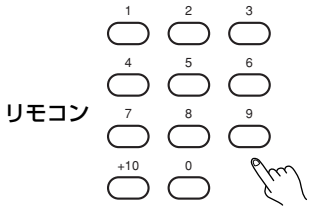
音量を下げてヘッドホン端子(PHONES)にステレオ標準プラグ付きヘッドホンを接続します。
音量はヘッドホンレベル調節ツマミ(PHONES LEVEL)で調整します。

■聞きたい曲から演奏する（ダイレクト演奏）

（リモコンのみの機能です。）



曲番を指定する



数字ボタンを押して曲番を指定します。

- 指定した曲番から自動的に演奏が始まります。

ヒント

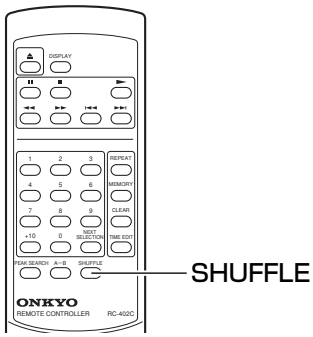
10曲目以上を指定するには

12曲目： +10 ＋ 2

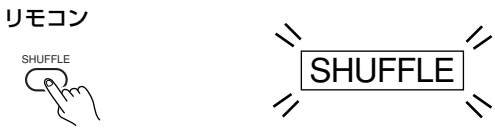
20曲目： +10 ＋ +10 ＋ 0

■順序不同に演奏する（シャッフル演奏）

（リモコンのみの機能です。）



シャッフル演奏を始める



シャッフルボタン（SHUFFLE）を押します。

- シャッフルインジケーターが点灯し、ディスクに入っている全曲を順序不同に並べ変えて演奏します。

ヒント

- シャッフル演奏中は、曲間に自動的に３秒間の無音部分が入ります。テープに録音した場合、この無音部分で曲の頭出しができます。
- メモリー演奏時、予約曲を指定してシャッフルボタンを押すと、予約曲だけを順序不同に並べ変えて演奏します。
- シャッフル演奏中にリピートボタン(REPEAT)を押すと、全曲の演奏終了後、改めて順序を並べ変えて演奏が始まります。

通常の演奏にもどすには

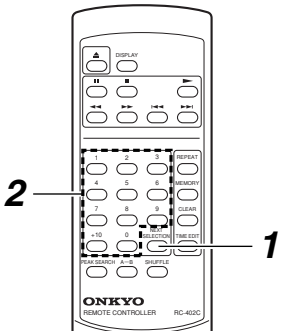
もう一度シャッフルボタンを押します。

演奏する

■次の演奏曲を選ぶ

（リモコンのみの機能です。）

演奏中、次に自分の好きな曲を指定できます。



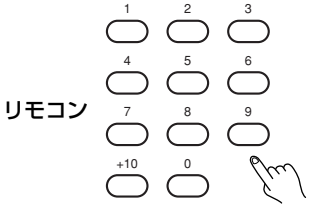
1 ネクストセレクションモードにする

リモコン

演奏中に、ネクストセレクションボタン（NEXT SELECTION）を押します。

- 「－－」が点滅します。

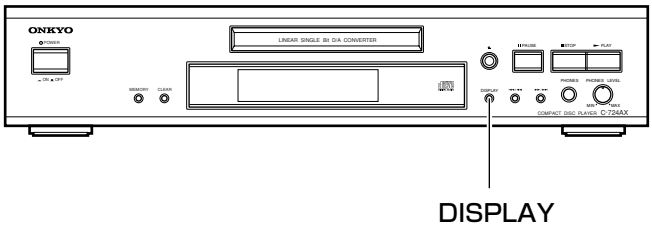
2 次に演奏する曲を選ぶ

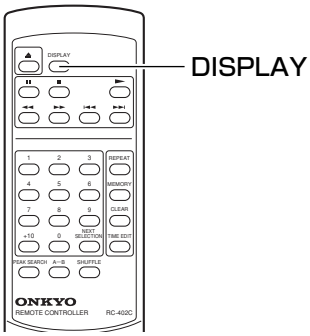


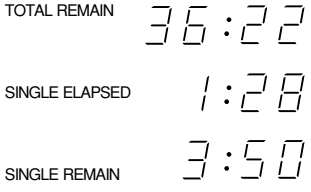
「－－」点滅中に、数字ボタンで曲番を指定します。

- 演奏中の曲の次に、指定した曲の演奏が始まります。

■時間表示を変える







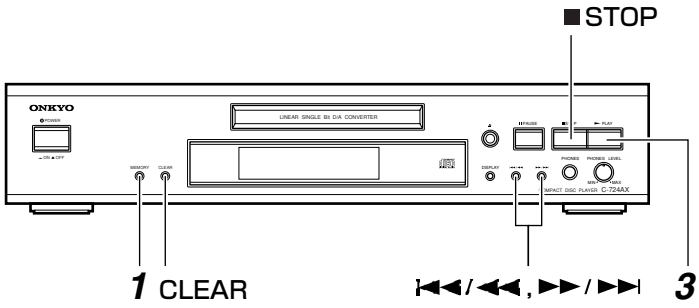
ディスプレイボタン(DISPLAY)をくり返し押します。

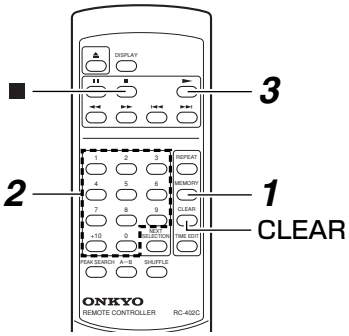
- 演奏中に押すと、押すごとに表示内容が次のように切り換わります。

ディスクの総残り時間(TOTAL REMAIN)
↓
演奏中の曲の経過時間(SINGLE ELAPSED)
↓
演奏中の曲の残り時間(SINGLE REMAIN)

予約演奏する（メモリー演奏）

ディスクの中の聞きたい曲を選び、聞きたい順に演奏します。予約できる曲数は、36曲までです。

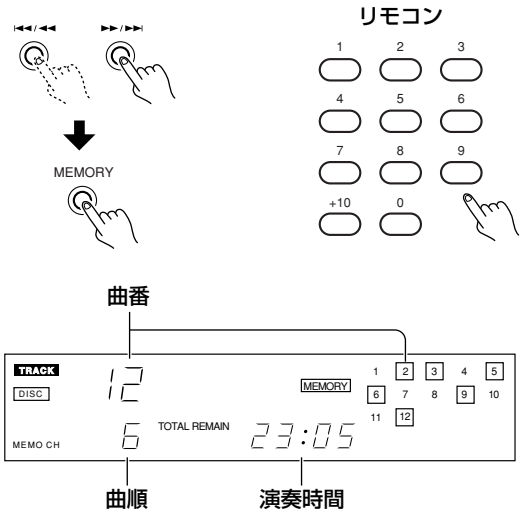




1 メモリー演奏モードにする

メモリーボタン（MEMORY）を押します。
- メモリーインジケーターが点灯します。

2 聞きたい曲を選ぶ



サーチ／スキップボタン(I◄◄/◄◄, ►►/►►I)で予約したい曲を表示させ、メモリーボタンを押します。リモコンで操作する場合は、数字ボタンを押すたびに予約が追加されます。

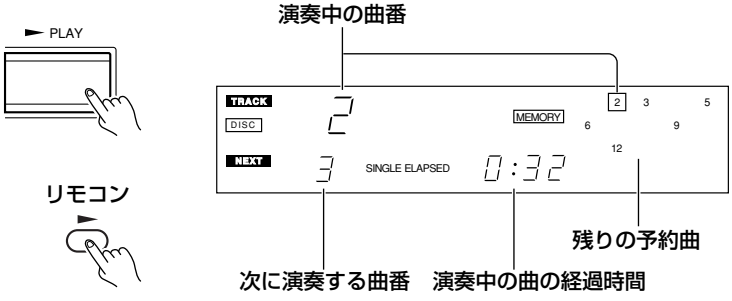
ヒント
- 予約が36曲を超えるとFL表示になり、それ以上予約できません。
- 演奏中にメモリーボタンを押すと、演奏中の曲が予約されます。

10曲目以上を指定するには

12曲目： +10 + 2

20曲目： +10 + +10 + 0

3 演奏を始める



プレイボタン(►PLAY)を押します。
- 予約順に演奏が始まります。

ヒント

メモリー演奏中は、曲間でスペースインジケーターが点滅し、自動的に3秒間の無音部分が入ります。テープに録音した場合、この無音部分で曲の頭出しができます。

メモリー演奏を止めるには

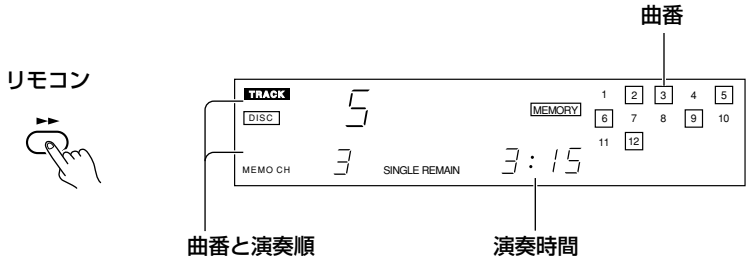
ストップボタン(■ STOP)を押します。予約内容は記憶されています。もう一度押すと、予約がすべて取り消され、メモリー演奏が解除されます。

予約演奏する（メモリー演奏）

予約を間違えたら

クリアボタン（CLEAR）を押します。
- 押すたびに、最後の予約曲から順に取り消されます。

予約を確かめるには
（リモコンのみの機能です。）



メモリー演奏停止中にリモコンの►►ボタンを押します。
- ►►ボタンを押すたびに、予約順に予約内容が表示されます。

すべての予約を取り消すには

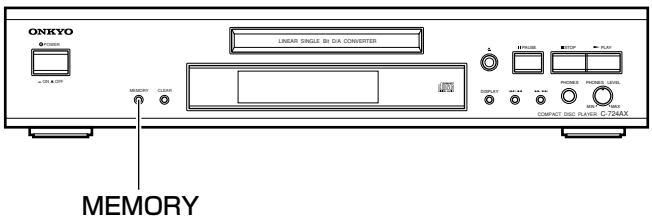
演奏停止中にストップボタン(■STOP)を押します。
- 予約がすべて取り消され、メモリー演奏が解除されます。

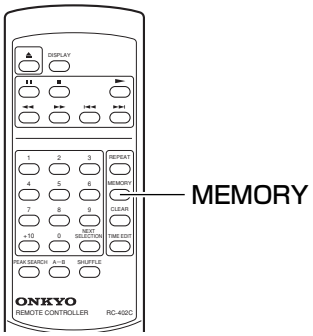
ヒント

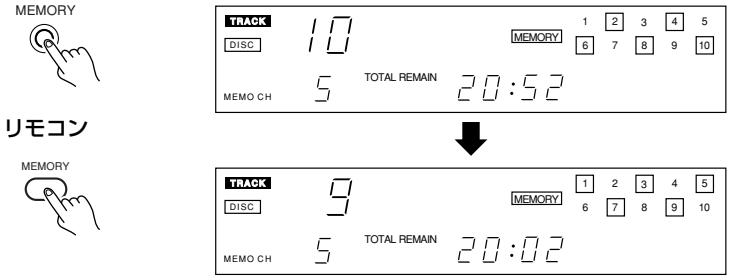
改めて予約するには、メモリーボタン(MEMORY)を押してから数字ボタンを押します。

■予約内容を逆転する（メモリーリバース）

演奏しなかった曲だけを選択して、予約することができます。

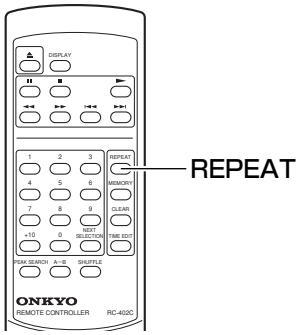






演奏曲が予約されている状態で、メモリー演奏停止中にメモリーボタンを押すと、予約しなかった曲が逆に予約曲になります。

くり返し演奏する（リピート演奏）



■全曲をくり返す

（リモコンのみの機能です。）

リモコン

1回押す

リピートボタン（REPEAT）を1回押します。

- 演奏中に押すか、または停止中に押してからプレイボタン(►PLAY)を押します。

リピート演奏を解除するには

リピートボタンを押し、リピートインジケーターを消します。

ヒント

メモリー演奏では

予約曲だけが予約順にくり返されます。

シャッフル演奏では

全曲の演奏が終了するたびに、改めて順序を入れ替えてくり返します。

■1曲をくり返す

（リモコンのみの機能です。）

リモコン

2回押す

リピートボタンを2回押します。

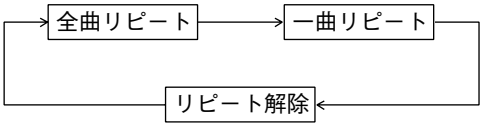
- 演奏中に押すと、演奏中の曲だけをくり返します。リピートボタンを押してからプレイボタンを押すと、1 曲目だけをくり返します。

リピート演奏を解除するには

もう一度リピートボタンを押します。

ヒント

リピートボタンを押すたびに、次のようにリピートモードが切り換わります。

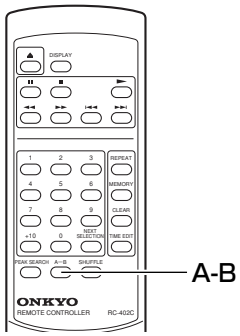


くり返し演奏する（リピート演奏）

■聞きたい部分をくり返す（A−Bリピート）

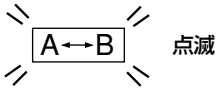
（リモコンのみの機能です。）

特定の部分を何度もくり返して聞きたいときにA-Bリピートボタンで始点と終点を指定します。



1 くり返したい部分の始め(A点)を指定する

リモコン

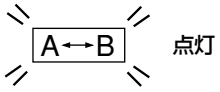


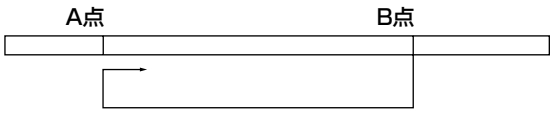
演奏中に、くり返したい部分の始め（A点）でA-Bリピートボタン（A-B）を押します。

- A-B インジケーターが点滅します。

2 くり返したい部分の終り(B点)を指定する

リモコン





くり返したい部分の終り（B点）で再度A-Bリピートボタンを押します。

- A-B インジケーターが点灯します。
- A 点と B 点の間だけをくり返し演奏します。

A−Bリピート演奏を解除するには

もう一度A-Bリピートボタンを押します。

ヒント

曲をこえてA点−B点を指定することもできます。

ご注意

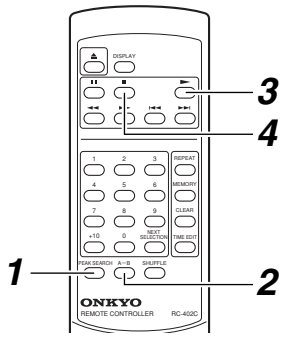
A−Bリピート演奏は、メモリー演奏中、シャッフル演奏中、リピート（全曲リピート、1曲リピート）演奏中、タイムエディット演奏中は、できません。

カセットテープへの録音に便利な機能

■最大レベル位置を探す（ピークサーチ）

（リモコンのみの機能です。）

ディスクの中の最大レベル位置を探し出し、その部分をリピート演奏してカセットデッキの録音レベルの調節や、音量調整に役立てます。



ご注意

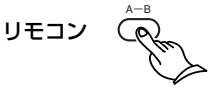
メモリー演奏では操作できません。必ずメモリーインジケーターが消えていることを確認してください。

1 ピークサーチを始める

ピークサーチボタン(PEAK SEARCH)を押します。

- サーチ中はピークレベルインジケーターが点滅し、サーチ終了後は点灯します。

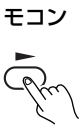
2 ピーク位置を呼び出す



A-Bリピートボタン（A-B）を押します。

- P 表示が点滅します。

3 ピーク位置の演奏を始める



プレイボタン(►)を押します。

- 約6秒間、ピーク位置の演奏がくり返されます。この間に、カセットデッキで録音レベルの調節やアンプのボリューム調整を行ないます。

ヒント

プレイボタンを押したあとにA-Bリピートボタン(A-B)を押すと、A-B間のリピート演奏になります。

4 演奏を止める

ストップボタン(■)を押します。

ヒント

- 一度検出されたピーク位置は、ディスクトレイを開くか電源を切るまで記憶されています。もう一度ピーク位置の演奏をするには、停止中に手順２～４を行います。
- ピークサーチボタンを押すと、ピークサーチインジケーターが消え、ピーク位置の記憶も消えます。

ご注意

ピークサーチ機能は、ディスクのレベルを最初から最後まで一定の間隔で読み取り、その中の最大値をピーク(音の一番大きいところ)としています。したがって、実際のピークレベルと多少異なる場合があります。
また、読み取るたびにピークとする部分が変わることがあります。しかし、実際のピークレベルとの差はわずかで、録音レベルの調節にはほとんど支障ありません。

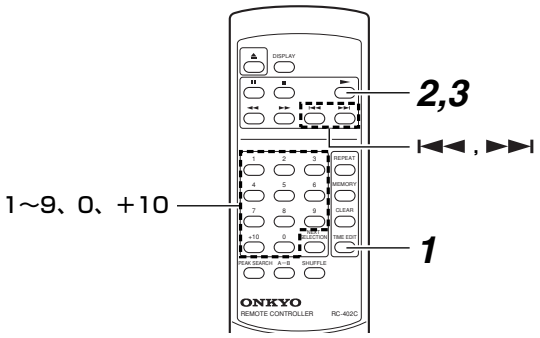
あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

カセットテープへの録音に便利な機能

■テープの長さに合わせて編集する（タイムエディット）

（リモコンのみの機能です。）

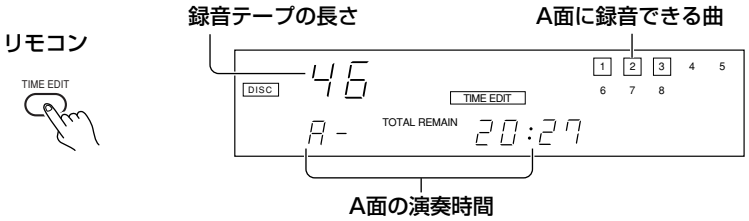
CDからテープに録音するとき、あらかじめテープのA/B両面に音切れなく録音できる曲数を計算します。

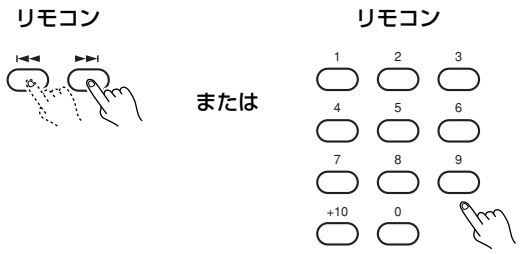


ご注意

タイムエディット機能は、21曲入り以上のディスクや1曲目の長さがテープの長さ全体の半分を超えるディスクでは使えません。メモリー演奏では操作できません。必ずメモリーインジケーターが消えていることを確認してください。

1 録音テープの時間を指定する





タイムエディットボタン(TIME EDIT)を押します。

- タイムエディットボタンを押すたびに、テープの長さ(両面)が次のように切り換わります。

→46→50→54→60→70→80→90→

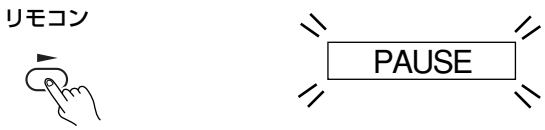
ヒント

A面の表示は2～3秒後にB面の表示[b -]に切り換わります。改めてA面の内容を確かめるには、ディスプレイボタン(DISPLAY)を押します。

上記以外の長さを指定するには

- I◄◄ボタンまたは►►Iボタンを押すと、1分単位で指定時間を変更できます。
- 数字ボタンを押すと、分単位で指定時間を直接入力できます。
- 設定時間の最大は 99 分です。

2 A面の演奏を始める



プレイボタン(►)を押します。

- A 面の演奏終了後、自動的に一時停止状態になります。

3 B面の演奏を始める

再度プレイボタンを押します。

ご注意

タイムエディット操作時、ストップボタン(■)、オープン/クローズボタン(▲)、ディスプレイボタン(DISPLAY)、数字ボタン以外のボタンは働きません。

故障？と思ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

表や他機の取扱説明書で点検しても正常に動作しないときは、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。その際に「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（C-724AX）」と「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお知らせください。

症状	原因	処置
ディスクを入れてプレイボタンを押したが、演奏しない。	• ディスクの表裏が逆に入っている。 • ディスクがひどく汚れている。 • 結露している。	• ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。 • ディスク表面をクリーニングしてください。(9ページ「ディスクのお手入れ」の項参照) • 本機を暖かい所に1時間ぐらい置いてください。(9ページ「結露について」の項参照)
音が出ない。	• オーディオ用ピンコード、スピーカーコードの差し込みが不完全。	• しっかり接続し直してください。(12ページ「接続」の項参照)
音とびする。	• ディスクがひどく汚れている。 • ディスクに大きなキズがある。 • セットに振動が加わっている。	• ディスク表面をクリーニングしてください。(9ページ「ディスクのお手入れ」の項参照) • ディスクを取り替えてください。 • 振動のない場所にセットを移動してください。
選曲時間(指定の曲を探し出す時間)が極端に長い。	• ディスクが汚れている。 • ディスクにキズがある。	• ディスク表面をクリーニングしてください。(9ページ「ディスクのお手入れ」の項参照) • ディスクを取り替えてください。
曲をメモリーさせることができない。	• ディスクが入っていない。 • ディスクにない曲番をメモリーさせようとしている。	• ディスクを入れてください。 • ディスクにある曲番をメモリーしてください。
雑音が出る。	• テレビからの影響を受けている。	• テレビの電源スイッチを切る。または、本機をテレビから離してください。
リモコンで操作できない。	• 電池が消耗している。 • プレーヤーと距離がありすぎる。角度が悪い。 • プレーヤーとの間に障害物がある。	• 電池を交換してください。 • リモコンユニットはプレーヤーとの距離が約5m以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ30°以内で操作可能です。 • リモコンの操作場所をずらすか、障害物を取り除いて操作してください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、静電気などを拾って誤動作するときがあります。このようなときは、電源コードをコンセントから一度抜き、5秒以上たってから接続しなおしてください。

製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害（CD レンタル料等）については保証対象にはなりませんので大事な録音・録画をするときには、あらかじめ正しく録音・録画できることを確認の上、録音・録画を行ってください。

主な仕様

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオプレーヤー
読み取り方式	非接触光学式
回転数	約500 ～ 200rpm （CLV）
線速度	1.2 ～ 1.4m/sec
エラー訂正方式	クロスインターリーブ・リードソロモンコード
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング（352.8kHZ）
DAコンバーター	1bit
チャンネル数	2チャンネル（ステレオ）
周波数特性	5Hz ～ 20kHz
高調波歪率	0.005%以下
ダイナミックレンジ	96dB以上
SN比	90dB以上
セパレーション	85dB以上
ワウ・フラッタ	測定限界以下
出力レベル	2.0Vrms
ピックアップ	3ビーム方式、半導体レーザーピックアップ
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	8W
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	435(W)×91(H)×314(D) mm
質量	4.0kg

仕様および外観は、性能向上のため予告なしに変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日

ご購入店名：

Tel. ( )

メモ：

■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(C-724AX)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様ご相談窓口	**カスタマーセンター** 受付　9:30～17:30　（土日祝、弊社休日除く） **■カタログのご請求、製品についてのご相談** ＊ e-mail：ホームシアター/オーディオ製品　→ customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品　→ mmcadmin@onkyo.co.jp ＊ TEL：ナビダイヤル0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊ FAX：072-831-8124 ＊〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ　→ http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ → http://www.e-onkyo.com

修理窓口　修理のご依頼は、取扱説明書の「故障?と思ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。
転居されたり、贈物でいただいたものの故障で、お困りの場合は、下記へご相談ください。

パソコン用スピーカー以外のマルチメディア製品は、

マルチメディアサポートセンター	TEL.072-831-7305　FAX.072-831-8124 〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

ホームシアター/オーディオ製品とパソコン用スピーカーは、

北海道地区	
札幌サービスステーション	TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619 〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28　トーシン北28条ビル
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区	
仙台サービスステーション	TEL 022-297-0571　FAX　022-257-7330 〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5　第二丸昌ビル 1F
茨城・栃木地区	
宇都宮サービスステーション	TEL 028-634-4307　FAX 028-634-4308 〒320-0831　栃木県宇都宮市新町2-7-7
群馬・埼玉・新潟地区	
大宮サービスステーション	TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137 〒330-0034　埼玉県大宮市土呂町2-29-2　高安ビル 1F
千葉・東京(23区)地区	
東京サービスセンター	TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124 〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3　ハマスエビル
東京(23区を除く)・山梨・長野地区	
八王子サービスステーション	TEL 0426-32-8030　FAX 0426-32-8040 〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地
神奈川地区	
横浜サービスステーション	TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603 〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13　共益ビル5F
岐阜・静岡・愛知・三重地区	
名古屋サービスステーション	TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331 〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番
富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区	
大阪サービスセンター	TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604 〒552-0013　大阪市港区福崎2丁目1番地49号
鳥取・島根・岡山・広島・山口(下関を除く)地区	
広島サービスステーション	TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571 〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28
徳島・香川・愛媛・高知地区	
高松サービスステーション	TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672 〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F
山口(下関)・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区	
福岡サービスステーション	TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358 〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19　みなみビル202

2001年3月現在　お客様相談窓口、修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

ONKYO®
オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはオンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内記載の最寄りのサービスステーションへ
お申し出ください。
●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/

SN 29343090

G0104-1